

石井市長 センター別館視察!!

▶ 広報紙配布業務に取り組む 会員の姿勢に感心



1月23日(日)、石井市長が別館の「広報紙仕分業務」を視察されました。

石井市長からは昨年より視察の打診がありましたが、令和4年度から広報紙配布の「配送業務」が民間委託される見通しが立ったことにより、この日ようやく実現したものです。

現地では、近藤理事長が「仕分業務」や「広報紙配布業務」の一連の流れを詳しく説明し、石井市長の質問に答えました。

同行の北田副市長、岩崎産業文化局長も短時間でしたが「広報紙配布業務」の精度や緻密さ、会員の取組む姿勢に感心されていました。(事務局)

▶ 念願叶った嬉しいお知らせ!!

その後、センターで理事・監事と石井市長との懇談の場を持ち、近藤理事長から広報紙配布期間の延長という、かねてからの要望を伝えました。石井市長からは、シルバーの会員の皆様が市内全域23万戸にもれなく『市政ニュース』をお届けすることに、予想を超えた精度や体制で取り組んでいただいているとの驚きと感謝を述べられ、皆様の熱い思いを実現するよう持ち帰って検討しますと返事をされました。

後日、正式な回答があり、現在2日間の配布期間が3日間(下記)に延長されました。念願が叶った嬉しいお知らせでした。(事務局)

例:
市政ニュース
配布日

- *10月号は9・10日⇒9・10・11日に
- *25月号は24・25日⇒24・25・26日に

手作りチーム展示販売会の再開

コロナ禍で自粛を余儀なくされ、イベントを開催することができませんでしたが、2年ぶりに「じゅとう屋」さん(阪急門戸厄神駅から徒歩3分)で1月26日、27日の2日間、手作りチームの『作品展示販売会』を開催しました。



この日を楽しみにしておられたお客様もおられ、とても嬉しい気持ちになりました。

これからも十分な感染対策をして開催したいと思っておりましたが、オミクロン株の急拡大で2月は中止となりました。コロナが落ち着けば再開いたしますので、みなさまのお越しをお待ちしております。(手作りチーム代表)

<事務局からのお知らせ>

令和4年度 会費納入のお願い

来年度の会費納入はがき(コンビニエンスストア収納)を2月中に郵送いたします。

3月末までにお近くのコンビニエンスストアでお納めください。昨年度、郵便局で納入された会員の方には払込取扱書を送ります。センター窓口での現金納入は受け付けておりませんのでご了承ください。(総務課)

1月末の 事業実績

※()は昨年比

- 会員数：2,266人(-43人)
- 事業高累計(含派遣)：615,263千円(+41,337千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,740人(-20人)

センター 無事故 継続日数

- 就業中：8日
- 就業途上他：283日
(2022年1月31日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

健康

★オミクロンに要注意！

感染力が非常に強い「オミクロン株」が猛威を振るっています。すでに医療機関への受診や入院もままなりません。また、ご家族の感染により会員自身が濃厚接触者と認定されるケースが多くみられます。今まで以上に感染予防に努めてください！

安全

★「転倒」に気をつけて！

・なぜ、高齢者は転倒しやすくなるの？

高齢になると自分が思っている以上に「筋力」や「身体機能」が低下しています。瞬発力や柔軟性なども衰えるため、頭と実際の動作に差が生まれ、転倒してしまうのです。

・転倒するとどうなるの？

「令和3年度版高齢社会白書」では、介護が必要になった原因の4番目に「骨折・転倒」がランクインしています。高齢者は骨粗しょう症の割合が高いので、転倒すると骨折しやすく、介護が必要になるケースも出てきます。

・転倒しても大事にいたらないために！

骨粗しょう症にならないように、丈夫な骨を維持するためには、食生活がポイントです。

★骨の形成に役立つ栄養素…

- カルシウム⇒
牛乳・小魚・チンゲン菜など。
 - ビタミンD⇒
サンマ・シイタケ・卵など。
 - ビタミンK⇒
納豆・ニラ・キャベツなど。
- バランスよく摂取できるような食事を心がけましょう。

★カルシウムの吸収を助ける

- ビタミンD⇒
紫外線を浴びることで、体内でも作られます。
- 屋外での運動をかねてウォーキングなどにチャレンジしてみてもいいかもしれません。

(安全・適正委員会)

甲東地区にて
『特殊詐欺講習会』を開催



甲東地区にて2月2日に、コロナ禍ながら感染防止対策を行ったうえで、『第2回特殊詐欺講習会』を開催し、甲東地区会員28名が参加しました。

西宮警察署生活安全課の専門官を招き、昨年度の西宮市の被害件数および被害額がともに多いことの説明や、迫力ある実際の詐欺電話のやり取りを聞きました。また、絵を見て何に見えるかという心理テストでは、参加者の90パーセントの人が詐欺に引っかかるタイプとのテスト結果に一同笑いに包まれました。

改めて、特殊詐欺にあわないように再認識した講習会でした。
(広報・企画委員会)



《子育て支援チーム》
再開について



「子育て支援チーム」の活動再開に向けての会合が、オミクロン株がまだ下火だった1月12日に開かれました。

コロナ禍で2年間の活動休止を余儀なくされ、久しぶりの顔合せでした。

従来の「ぴよぴよサロン」、「夏休み工作教室」、「シルバーフエア」などに加え、小さな会場で何か開催できないかなど、新しい仲間も加わっての10名のチームが、再開へ向けての意見交換をしました。

眠っていたボランティア精神に火が付き、士気を高めて会を終えました。
(広報・企画委員会)